

平成29年度 学校経営計画

○学校の基本構成 児童数52 学級数5 職員数16

○児童・地域の実態

児童は、豊かな自然と学校教育に協力的な地域・保護者・祖父母に支えられ明るく健やかに育っている。素直で優しく、勤労奉仕的な活動を厭わない。学習規律、家庭学習の習慣は積み上げられてきているが、主体的に追求する態度や活用力はさらに育成の必要が感じられる。学力の個人差も見逃せない。児童数の過減が続き、本年度は複式学級が編成され、次年度は統合を控えている。

1 経営理念

学校は、

- ・学びの意欲を喚起し、学んだ充実感を味わわせる
- ・学校や地域を大切に思うとともに、未来（統合校）の創造に意欲を持つ子を育てる
- ・保護者、地域、関係機関と連携し、家庭、地域の信頼に応える

教職員は、

- ・生徒指導の三機能を基盤に子どもの自己実現を支援する
- ・自己の指導力を高めるとともに、学び合う
- ・チームとして協働し、組織力を高める

2 教育目標 市の重点目標 未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に育成する学校

知・徳・体のバランスのとれた意欲的で自立した「波佐谷っ子」を育てる
～かかわり合い、学び合い、高め合い～

児童像（校訓）

学ぶ子（知） 自ら意欲的にかかわり合い、学び合い、高め合う子

やさしい子（徳） 礼儀正しく、思いやりがあり、正直な子

働く子（体） 健康な体と心を持ち、最後までやりぬく子

3 本年度の目標と取組（重点項目は太字） ⑩は「いしかわ学びの指針12か条+」

| 項目 | 目標 | 主な方策・取組 |
|-----------------|--|---|
| （1）組織的な学校運営 | ①運営機構の適正化・効率化 | ・三者会、実行委員会が機能する運営機構の編成と運用 |
| （2）指導力の向上 | ①学校研究の成果を1つでも実感 ②次期学習指導要領を念頭に置いた指導改善 | ・具体的で全校的な取組 ・授業改革（主体的、対話的で深い学び） ・取組の見える化と検証 |
| （3）学力の定着・向上 | ①基礎学力の定着と活用力の向上を図る ⑩2、3、6、8、10 ②児童に応じた適切な手立てと個別支援 | ・根拠、筋道を立てた説明、条件に合った説明の力をつける指導 ・授業と家庭学習（自学）の連動性 ・管理職等による個別学習支援 |
| （4）生徒指導 | ①積極的な生徒指導の推進 ②安全指導の充実 | ・あいさつ指導・児童会の取組 ・ひだまり週間 ・交通安全教室の充実 ・安全マップ作成と活用 |
| （5）特別支援教育 | ①通常学級における支援の推進 | ・早期対応、関係機関との連携 |
| （6）道徳教育 | ①特別の教科道徳への最終準備 | ・授業改善と評価方法の研究・試行 |
| （7）読書教育 | ①読書習慣の育成 | ・不読者へのアプローチ、読書指導 |
| （8）キャリア教育 | ①母校への感謝と誇り、新しい学校への期待を醸成 ②豊かな心、生涯にわたる素養の基礎づくり | ・集会講話、特別活動、行事等の工夫、地域的資源の活用 ・俳句、百人一首の奨励 ・学外人材の活用 |
| （9）保健健康教育 | ①体育指導と体力向上 ②健康な体づくり | ・体力アップ1校1プラン ・スポーチャレいしかわ、体力テスト ・姿勢や視力の健康意識向上の取組 |
| （10）情報教育 | ①情報活用力 ⑩7 ②情報モラル教育 | ・教師、児童のICT活用 ・小中連携の取組 |
| （11）家庭・地域社会との連携 | ①家庭・地域に開かれた学校の推進 ⑩12 | ・学校の各種取組との連携 〔あいさつ、読書、自学、環境保全、生活習慣、情報モラル等〕 ・閉校行事および統合に向けての実行委員会事務局の運営 |